

空梅雨かと思う日々もあつた今年ですが、六月末からは連日のように雨が降り注ぎ、道路脇の紫陽花に心を傾けられた方も多かつたのではないのでしょうか。そして、季節は夏へ。澄み切つた青空に強烈な日差しが眩しい夏は、同窓会の季節でもあります。川辺高校の同窓会会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のことと拝察いたします。また、日ごろから本校の教育活動充実のために、深い御理解と御支援をいただいておりますことに對し、この場をお借りして心から感謝の意を表します。

改めまして、私は川辺高校の校長として昨年から勤務しております東郷孝仁と申します。旧制第四中の流れを汲み、百十七年の歴史と伝統を誇る川辺高校で校長という職で仕事をすることは、大変名誉なことであると考

えております。その一方で重責を担い身が引き締まる思いです。どうぞ、よろしく願います。それでは、まず最初に今年三月に卒業した九六名の進路状況について述べます。

◎国立大学二六名合格

主な合格大学…
鹿児島大学、山口大学、茨城大学、静岡大学、宮崎大学、熊本大学、高知大学、長崎大学、鹿屋体育大学、琉球大学、山口県立大学、高知県立大学、長崎県立大学、宮崎県立看護大学、名桜大学

◎私立大学 三六名合格

主な合格大学…
鹿児島国際大学、志學館大学、第一工業大学、福岡大学、東海大学、九州共立大学、九州産業大学、酪農学園大学、国際武道大学、近畿大学、倉敷芸術科学大学、久留米工業大学、宮崎国際大学、鹿純心女大

◎国立短大 七名合格

主な合格短大…
鹿児島県立短期大学、新見公立短期大学、静岡県立大学短大部

◎私立短大 十二名合格

主な合格短大…
鹿児島純心女子短大、鹿児島女子短期大学

◎専門学校 三三名合格

主な合格系統…
◆医療系・看護系
（歯科衛生士、作業療法、言語聴覚療法、臨床検査、医療福祉、臨床工学、看護）

◆その他 七名合格

（美容、環境情報等）

◎文科省所管外大学校 六名合格

九州職業能力開発大学校、川内職業能力開発短期大学校
◎就職・公務員二名採用
鹿児島県警察官、南さつま農協

結果を示すのは容易ですが、ここに至るまでに

は、生徒、教師、保護者等の様々な思いと努力がありました。正直によく頑張つたと思います。昨年の或る日のこと。「校長先生、面接をさせていただけないでしょうか。お願いします。」

「どこの学校を受けようと思つているの?」「はい、〇〇大学を受けようと思つています。」「わかりました。それでは、面接指導をする前に、受験校の資料を持ってきてください。」

真剣な眼差しで校長室にやつて来たその三年生の気持ちを考えて、面接の指導を引き受けることにしました。かと言つて私のひとつひとつの言葉は、生徒に与える影響は少なくありません。その生徒の特性をしっかりと踏まえた、より適切な指導の練習の前に、その生徒と面談をすることにしま

した。いろいろと雑談も交えた話をしていく中で、その生徒の特性を観察していきます。それから生徒が持つてきた資料を複写して家に帰つて、自分で読みます。どういうことを学ぶのか?募集定員は?昨年の倍率は?昨年の質問事項は?等、調べていけば、時間はかかりません。だいたい自分の中で整理ができた段階で、具体的な面接をしていきました。最後は、明るく元気な気持ちにさせることを考えて、生徒に言葉かけをします。

最初の試験で合格した生徒、不合格のあと二校目で合格した生徒、何回も挑戦し、その度に不合格となり、泣きながら勉強していた生徒、そして最後の最後で「合格通知」を受け取つた生徒。受験という人生の節目を迎えるの不安や焦り、後悔等の合格の瞬間に至るまでの様々な思いが綴られた

と思います。

卒業した三年生には、ドラマがありました。そのドラマの中で生徒が成長していく姿を見ることが、何よりも愉しみでした。大人への階段を一步昇ったその笑顔に拍手を贈ります。

次に、学校の概況について述べます。

◎入学式(四月七日)

春雷と雨音が歓迎の調べのように聞こえる中、爛漫の花に彩られて、真新しい制服に身を包んだ九八名の新入生を迎えて、第七二回入学式を挙行しました。伝統ある制服を身に付けた新入生は、高校生活への希望と決意に満ちた表情で節目の式に臨んでいました。

◆校長式辞の要点

- 初心を忘れるな。
- 涙は定量だが、汗は無限である。
- 学校を愛する心を持つとう。
- 高校で人的財産を手

に入れよう。

○一所(川辺高校) 懸

命学んで欲しい。詳細は省きますが、以上のような話をしました。そこに共通して流れるものは、自分自身の「深化と進化」、則ち、川辺高校で学ぶことに誇りを持ち、正々堂々、挑戦者の気概を持って、自身を高めて行って欲しいとの思いに他なりません。

◎文化祭(六月十七日)

初めて土曜日に開催しましたが、昨年にも増して多くの人々が訪れ、非常に良かったと総括しています。短い準備期間にも拘わらず生徒も職員も保護者の方々も一生懸命に協力して成功に導いてくれました。感謝の一言に尽きます。

一年生は各クラスで階段アートや地域に取材した建造物のジオラマ等の作成の他、全員でモザイクアートを作成して校舎の窓から展示しました。

『感動をありがとう』と書かれた浅田真央さんのモザイクアートは、多くの方が立ち止まって鑑賞されていました。

また二年生は、各地域の店舗やそこでの商品、食材等に取材したバザーを行いました。商品の選り、値段交渉、仕入れの量等、自分たちでやり遂げました。そして、三年生は演劇やダンスを中心とする舞台発表で聴衆の歓喜の声を浴びていました。その他にも書道部の発表、太極拳の演舞、ES部の英語弁論、日本舞踊や演奏研究、バンド演奏、放送部の朗読劇、サイエンス同好会の実験、音楽部の演奏会、美術部員・書道部員や科目選択者の作品展示、図書委員会、新聞委員会、家庭科学習発表の展示など、どれもとっても高校生らしい純真で素晴らしい内容だったと思います。展示や舞台発表も昨年より多く、

また保護者の皆様にも「かあちゃん食堂」やPIAバンドなどの協力をいただきました。ありがとうございました。

現在、学校では生徒会執行部を始めとして、部活動も新体制となり、野球、サッカー、ソフトボール、テニス、バレー、バスケットなど、元氣なかけ声とともに黙々と汗を流している姿、楽器を懸命に練習している姿がいつものように見受けられます。時代が推移して取り巻く環境も変わり、集う生徒が交代しても、培われる精神は、神戈陵魂としていつの時代も継承されています。

部活動ですが、なぎなた部が今年度も県大会で、演技・競技いづれも団体・個人で連覇を達成全国高校総体での活躍が楽しみです。水泳部も九州大会に出場しました。野球部、音楽部等、他の部もよく頑張つて、文武

両道を実践しています。

最後になりますが、地域により一層期待され、信頼される学校となるよう、生徒・職員が心を一つにして教育活動を展開してまいります。これまでも同様、深い御理解と御支援をお願い致します。川辺高等学校のさらなる飛躍と本部同窓会の、ますますの御発展を祈念申し上げます。どうぞ今後ともよろしく願います。

○タイトル

深化と進化
↳ 挑戦者の気概